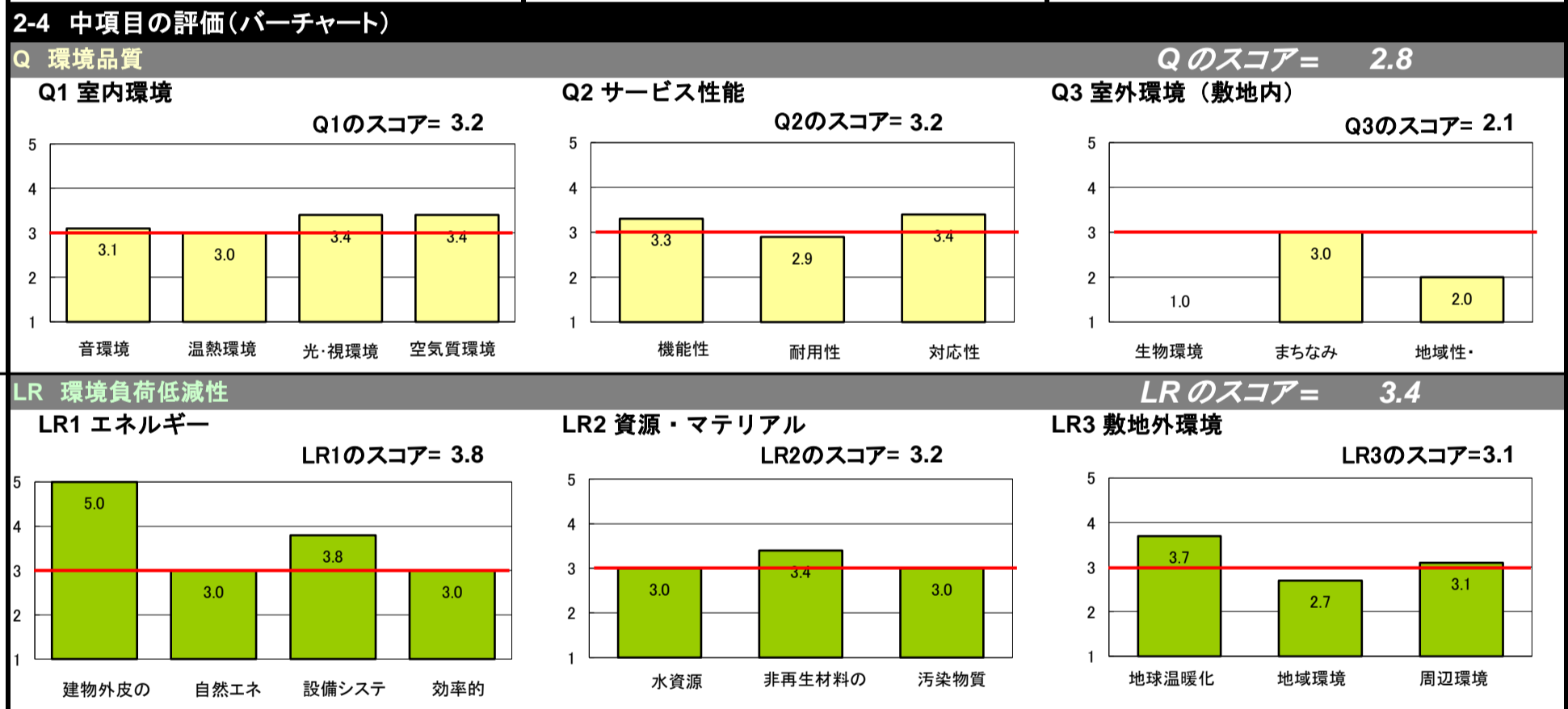
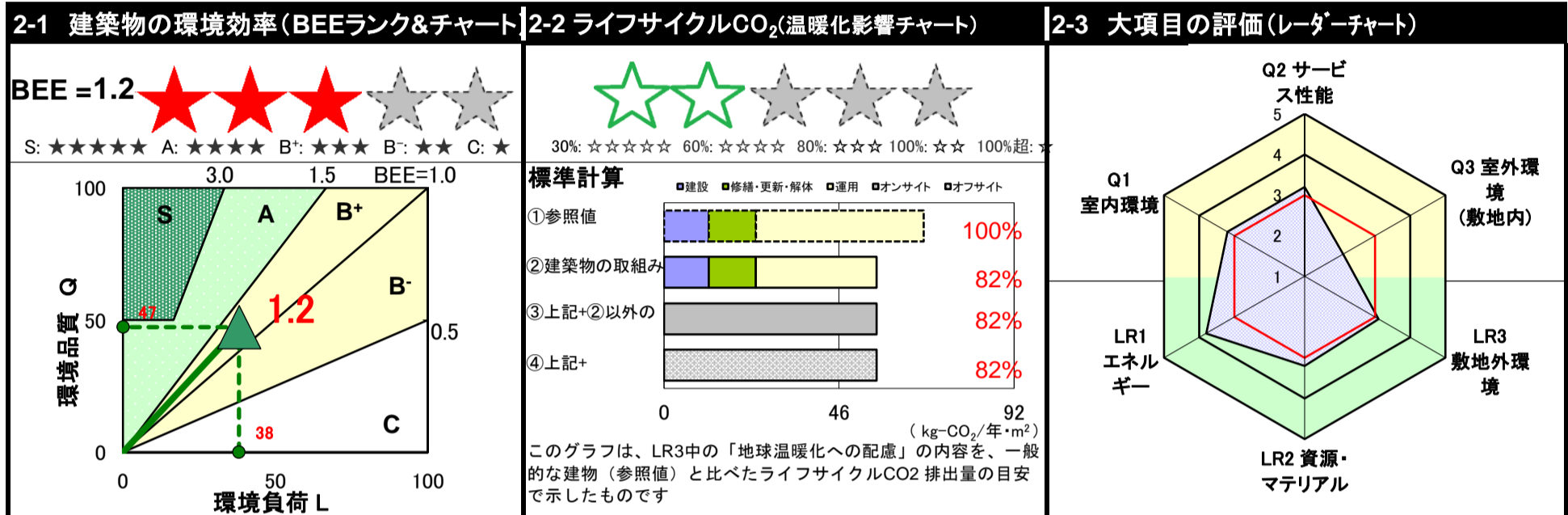


# CASBEE<sup>®</sup> あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中部大学(仮称)28号館	階数	地上5階
建設地	愛知県春日井市松本町字鳴原1200番の1 他62筆	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	200人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年3月20日
敷地面積	2,322 m <sup>2</sup>	作成者	石川 智博
建築面積	980 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月20日
延床面積	3,728 m <sup>2</sup>	確認者	石川 智博



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.7</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>21.5 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.2</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
中部大学(仮称)28号館

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:  
■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						全体
配慮項目	独自基準	評価点	評価点	重み係数	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	重点項目				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
0.1 3.1 0.15 - - - 3.1										
1.1 室内騒音レベル										
3.0 3.0 0.40 - 3.0 -										
1.2 遮音										
0.4 3.3 0.40 - - -										
1 開口部遮音性能										
- 3.0 0.30 - 3.0 -										
2 界壁遮音性能										
- 4.0 0.30 - 3.0 -										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
- 3.0 0.20 - 3.0 -										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
- 3.0 0.20 - 3.0 -										
1.3 吸音										
- 3.0 0.20 - 3.0 -										
<b>2 温熱環境</b>										
0.3 3.0 0.35 - - - 3.0										
2.1 室温制御										
0.5 3.8 0.50 - - -										
1 室温										
3.0 3.0 0.60 - 3.0 -										
2 外皮性能										
3.0 5.0 0.40 - 3.0 -										
3 ゾーン別制御性										
3.0 3.0 - - -										
2.2 湿度制御										
3.0 1.0 0.20 - 3.0 -										
2.3 空調方式										
3.0 3.0 0.30 - 3.0 -										
<b>3 光・視環境</b>										
0.2 3.4 0.25 - - - 3.4										
3.1 昼光利用										
0.3 3.0 0.30 - - -										
1 昼光率										
3.0 3.0 0.60 - 3.0 -										
2 方位別開口										
- - - - 3.0 -										
3 昼光利用設備										
3.0 3.0 0.40 - 3.0 -										
3.2 グレア対策										
0.3 4.0 0.30 - - -										
1 昼光制御										
5.0 4.0 1.00 - 3.0 -										
3.3 照度										
3.0 4.0 0.15 - 3.0 -										
3.4 照明制御										
3.0 3.0 0.25 - 3.0 -										
<b>4 空気環境</b>										
0.2 3.4 0.25 - - - 3.4										
4.1 発生源対策										
0.5 4.0 0.50 - - -										
1 化学汚染物質										
3.0 4.0 1.00 - 3.0 -										
4.2 換気										
0.3 3.3 0.30 - - -										
1 換気量										
3.0 4.0 0.33 - 3.0 -										
2 自然換気性能										
3.0 3.0 0.33 - 3.0 -										
3 取り入れ外気への配慮										
3.0 3.0 0.33 - 3.0 -										
4.3 運用管理										
0.2 2.0 0.20 - - -										
1 CO <sub>2</sub> の監視										
3.0 1.0 0.50 - - -										
2 喫煙の制御										
3.0 3.0 0.50 - - -										
<b>Q2 サービス性能</b>										
0.4 - 0.30 - - - 3.2										
<b>1 機能性</b>										
0.4 3.3 0.40 - - - 3.3										
1.1 機能性・使いやすさ										
0.4 3.0 0.40 - - -										
1 広さ・収納性										
3.0 3.0 - - 3.0 -										
2 高度情報通信設備対応										
3.0 3.0 - - 3.0 -										
3 バリアフリー計画										
3.0 3.0 1.00 - - -										
1.2 心理性・快適性										
0.3 3.0 0.30 - - -										
1 広さ感・景観 (天井高)										
3.0 3.0 0.50 - 3.0 -										
2 リフレッシュスペース										
3.0 3.0 - - -										
3 内装計画										
3.0 3.0 0.50 - - -										
1.3 維持管理										
0.3 4.0 0.30 - - -										
1 維持管理に配慮した設計										
3.0 4.0 0.50 - - -										
2 維持管理用機能の確保										
3.0 4.0 0.50 - - -										
<b>2 耐用性・信頼性</b>										
0.3 2.9 0.31 - - - 2.9										
2.1 耐震・免震・制震・制振										
0.4 3.0 0.48 - - -										
1 耐震性(建物のこわれにくさ)										
3.0 3.0 0.80 - - -										
2 免震・制震・制振性能										
3.0 3.0 0.20 - - -										
2.2 部品・部材の耐用年数										
0.3 3.1 0.33 - - -										
1 躯体材料の耐用年数										
- 3.0 0.23 - - -										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
- 2.0 0.23 - - -										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
- 5.0 0.09 - - -										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										
- 3.0 0.08 - - -										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										
- 4.0 0.15 - - -										
6 主要設備機器の更新必要間隔										
- 3.0 0.23 - - -										
2.4 信頼性										
0.1 2.6 0.19 - - -										
1 空調・換気設備										
3.0 3.0 0.20 - - -										
2 給排水・衛生設備										
3.0 2.0 0.20 - - -										
3 電気設備										
3.0 3.0 0.20 - - -										
4 機械・配管支持方法										
3.0 3.0 0.20 - - -										
5 通信・情報設備										
3.0 2.0 0.20 - - -										

<b>3 対応性・更新性</b>				<b>0.2</b>	<b>3.4</b>	0.29	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>				<b>0.3</b>	<b>4.2</b>	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり		階高4.1m	-	5.0	0.60		3.0	-	
2	空間の形状・自由さ			3.0	3.0	0.40		3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			2900N/m2以上	<b>3.0</b>	<b>4.0</b>	0.31		<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>0.3</b>	<b>2.3</b>	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②		-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	2.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	1.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		独自③		-	<b>1.0</b>	0.30	-	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		独自④		-	<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				<b>0.3</b>	<b>2.0</b>	0.30	-	-	-	<b>2.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>		独自④		-	<b>1.0</b>	0.50	-	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>				-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	-	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			BPI=0.63	<b>3.0</b>	<b>5.0</b>	0.30	-	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>				<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			BEI=0.72	<b>3.0</b>	<b>3.8</b>	0.30	-	-	-	<b>3.8</b>
<b>4 効率的運用</b>				<b>0.2</b>	<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				<b>1.0</b>	<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	3.0	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 水資源保護</b>				<b>0.1</b>	<b>3.0</b>	0.15	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>				<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>				<b>0.6</b>	<b>3.0</b>	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>0.6</b>	<b>3.4</b>	0.63	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>				-	2.0	0.07	-	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>				-	3.0	0.25	-	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		②		-	3.0	0.21	-	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		独自		3.0	3.0	0.21	-	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>				3.0	-	-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		独自	評価する取組みが2項目	3.0	5.0	0.25	-	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>0.2</b>	<b>3.0</b>	0.22	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>				<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.32	-	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>				<b>0.6</b>	<b>3.0</b>	0.68	-	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		①	ライフサイクルCO2排出率82%	-	<b>3.7</b>	0.33	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>0.3</b>	<b>2.7</b>	0.33	-	-	-	<b>2.7</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			燃焼機器を使用していない	-	<b>5.0</b>	0.25	-	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>				-	<b>2.0</b>	0.50	-	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>				<b>0.2</b>	<b>2.0</b>	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自		-	1.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25	-	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>0.3</b>	<b>3.1</b>	0.33	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				<b>0.4</b>	<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	1.00	-	-	-	
2	振動	独自		-	-	-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>				<b>0.4</b>	<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				<b>0.2</b>	<b>3.7</b>	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		評価ポイントの合計値が3ポイント	-	4.0	0.70	-	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>			<b>3.7</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10
<b>② 資源の有効活用</b>			<b>3.2</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19
<b>③ 敷地内の緑化</b>			<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09
			外構緑化:21.5%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-
			なし
			なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 中部大学(仮称)28号館

計画上の配慮事項	
総合	既存の校舎のデザインに合わせて一体感をもたせた。 東西面に窓を効率よく配置し、採光に配慮した計画としている。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下との界壁に遮音性能をもつ壁を配置</li> <li>西面の窓に縦型のルーバーを設置し、昼光制御をしている</li> </ul>
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>内装計画において、インテリアパースによる事前検証を実施している</li> <li>外装仕上に耐候性の高い塗装を採用している</li> </ul>
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な範囲で建物周囲に緑地を設けている</li> </ul>
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物外皮の熱負荷抑制において、BPI<sub>m</sub>=0.63 レベル5相当の数値としている</li> </ul>
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>部材の再利用可能性向上への配慮</li> </ul>
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域に対する光害等に配慮した計画と対策の実施</li> </ul>
その他	